

健康経営

実践企業に学ぶ

2



製作から設置まで行った
高さ12mの鋼製大鳥居



植平秀次社長

高齢化が進む中、定年欠員による社員の負担を回避し、適材適所で皆が長く働ける環境づくりを進めようと、健康経営を始めたのが植平工業だ。今年、5回目となる「健康経営優良法人」の認定を受けた。

植平工業



ヒット商品となったアルミ製
キャンピングトレーラー

夢を実現できる企業へ

社員の健康などを担う「安全衛生委員会」、けがや間違いを防ぐ工程、コスト改善を考える「KAIZEN委員会」、新たな商品開発で社員の収入を増やし、メンタルアップを担う「新製品開発委員会」の三つが互いに

協力し、健康経営を具体化する。病气やけがによる長期休業時の給料補償や職場に復帰しやすい環境も整備、植平秀次社長は「社員がより安心して働ける企業へと成長できた」と話す。

本年度から完全週休2日制を導入し、年間休日130日を目標に、従業員のストレス軽減と体力回復、生産性向上につなげている。実現には部署

でなく、従業員を含め、同社に関わる全ての人々を指す。「巡り逢えてよかった」と思っている企業が目標という。

社員から新製品のアイデアを募り、新製品開発委員会を通じて商品化、粗利の3割を発案した社員に還元する。そんな取り組みからヒットした商品もいくつかあるという。

自分が発案した商品が会社を支えるというやりがいがある。モチベーションにつながる。やりたいことを実践できる「『夢を実現できる企業』としてこれからも成長し続けたい」と植平社長は意気込む。

(毎月第4金曜日掲載)

会社概要

- 所在地／宇陀市大宇陀大東203の1
- 電話／0745 (83) 3011
- 創業／1973 (昭和48) 年 3 月
- 事業内容／普通鋼、特殊鋼、ステンレス鋼の製品の加工及び販売